

施設の子どもや里子、養子、一般家庭の子どもたちと大人たちが垣根なくふれあう交流イベントを通して、子どもたちが安心して遊べる機会、多くの人と触れ合う機会を作っています。

バルーンイベント開催

春の日差しが注ぐ3月下旬。東京都内のキャンプ場で、ぐる〜んバルーンイベントが開催されました。イベントには、子どもたちに何かしてあげたいという気持ちはあるけれど何をしたら良いかわからない、と思っていらっしゃる方も多く参加されていました。LFSのメンバーにも、同様の気持ちがありました。

無邪気に遊ぶ子どもには、施設の子ども、里子、一般家庭の子どもの垣根は見えませんが、風船を膨らまし、かけっこをする子どもの様子を感じながら、支援に関する情報交換や、子どもの様子を話す大人たち。



まさに、子どもが好きで遊びに行く、おばちゃん、おじちゃん、おねえちゃん、おにいちゃんとして参加できる機会、皆が楽しんでいる様子、散歩で通りがかった子どもと一緒に遊べる様子も見えました。皆さんの周りにも、「子どもたちに何かしてあげたいのだけれど、何をしたら良いかわからない」と、思っている方がいらっしゃるはず。まずは、ぐる〜んのホームページやFacebookにアクセスしてみてください。そこには、ボランティアというより、子どもたちを大好きで何かしたいと思うメンバーが集っています。

【参加した社員の声】

実は時々自宅でも料理をしますが、私が作った「シーフードカレー」は好評で、あっという間に大鍋が空っぽになりました。子どもたちが喜んでくれたのが一番嬉しいことなのですが、正直なところ私自身も屋外での料理を楽しんできました。「ボランティア」というと少し敷居が高いような感じがしましたが、「自然体」でいることが、子どもたちにも良い影響があるのだと感じることができた機会でした。それは、自分が楽しんでいるからそれを誰かが共有してくれ、その雰囲気自然と広がるようなものです。また、同僚の普段の仕事をしている時とは違う顔を見ることもでき、話題作りにもなった一日でした。様々な人とふれあい、心地よい時間を過ごし、次の機会が楽しみにになりました。



編集後記

4月の改正厚生年金保健法により多くの厚生年金基金が解散に向かう模様です。日本も国や会社任せの時代から脱却しなければいけない環境になったようです。まずは我々がフィナンシャルリテラシーを身につけねばなりません。



〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル 3F
Tel 03-5765-5515 fax 03-3457-5588 www.life-force-support.co.jp

営業拠点一覧

東京本社：東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル
札幌オフィス：札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 1-5 リージェントビル 4F
仙台オフィス：仙台市青葉区五橋 1-7-15 ピースビル五橋 4F
名古屋オフィス：名古屋市中区栄 3-19-19 フォルテ栄 8F
北九州オフィス：北九州市小倉北区砂津 1-6-25 小文字幹線ビル 204



目次

- ごあいさつ P.1
- 金融経済情勢-金融経済中心の島- P.2
- コミュニケーション&保険トピック P.3
- 社会貢献活動について P.4

開発コラム Force-i

ライフプランを作っていく上では家族ごとにそれぞれのライフイベントがあり、またそれぞれにどのくらいの資金が必要か、など全く同じライフプランは存在しません。家族構成から将来目標を定め、経済環境などを考慮しながらデータ反映させることでオリジナルなライフプランが出来るようになっていきます。FORCE-i ではご家族に必要な将来のライフイベントが網羅されていますので、より具体的なライフプランニングが作成できるようになっています。これに加えてデータでは表せない「ご家族のスローガン」や3年後・5年後の目標、将来ビジョンの入力が可能となっています。普段の生活の中ではこのようなことは家族お互いに話すことは少ないのではないのでしょうか？ご家族での夢や目標を共有する機会としてのライフプランニングも Force-i では大切なことと捉えています。将来をより充実させるために一度ご家族で話し合ってみてはどうでしょうか。

日頃より、株式会社ライフフォースサポート (LFS) 並びに弊社ライフブランドバイザー (LA) への、厚いご支援を賜り誠に有難うございます。皆様、ゴールデンウィークはどの様に過ごされましたか？今年はカレンダーの並びもどこか微妙でしたが、しっかりと計画を立て入念な準備を行い、多くの思い出作りをされた方も多くいらっしゃると思います。

自己啓発系の本で目にしたのですが、「幸運=準備×チャンス」というフレーズがありました。どこか私の潜在意識の中で「幸運=偶然×チャンス」に似た感覚を持っていたために、何故かこれに興味を持ち、しばらくそのフレーズについて考えてみる事にしました。後者は少し考えると宝くじの当選確率にも似た感覚に思えてきましたので、前者と比べて幸福を手にする確率は極めて低く、「幸運≠偶然×チャンス」であると容易に気付きます。もちろん宝くじを否定する気は毛頭なく、むしろよく購入しています。

では“準備”とはどういう事を言っているのでしょうか？辞書でみると、～物事をする前にあらかじめ必要なものをそろえたり、態勢を整えたりして用意すること～と書いてあります。つまり、成し遂げたい目標、辿り着きたい目的地を、明確に設定するという事が重要だと考えられます。大きな成果を手にするには、「まずはこんな事が出来たら良いなあ」と願う程度の幻想に始まり、「いつかこんな事を成し遂げたい」と思う夢に発展させ、「いつまでに実現させる」という明確な意思と目標を持ち、「近日中の予定として準備万端受け入れる」という様な段階を意識して、単に結果を求めるのではなく成長を伴った幸運・成功を掴むという方法が必要であると確信します。

LFSのライフプランシステム“Force-i”は、その様なコンセプトの元に開発致しました。お客様の充実した人生をLFSのLAと共に成長しながら、しっかりとした準備が出来る様サポートさせて頂きます。そういえば、オバマ米大統領を国賓としてお迎えした準備もさぞかし大変だったでしょうね。関係者の皆様お疲れ様でした。それでは皆様、是非“Force-i”を体験してみてください。

代表取締役 安岡 利朗





Human's Eye ～アンガーコントロール～

人間の感情の種類の代表的なものとして、「喜」・「怒」・「哀」・「楽」がありますが、中でも対人関係において最も影響があると言えるのが「怒＝怒り」ではないでしょうか？

誰しも、怒りの感情を抑えきれず、時に人間関係を悪化させ、恋愛や家庭、仕事において「あんなことを言わなければよかった」と後悔した経験がひとつやふたつはあることでしょう。

昨今いろいろな形で取り上げられているのが、「怒りの感情をコントロール」するという考え方で、「アンガーコントロール」や「アンガーマネジメント」などとも言われています。怒りの感情は、「危険から身を守る」という自意識に起因していると言われており、「危険」とは、身体におよぶこと、自尊心、名誉などであり、これらを守るための怒りは必要な感情であるとも言えます。これらのことから、「怒らなくなる」というのではなく、怒りの感情と「上手につき合う」ことが必要となりますが、私たちには達観した宗教家のように、怒りの感情をコントロールすることは容易ではありません。

その怒りの感情への対処としていくつかの方法をご紹介します。

①呼吸リラクゼーション

相手から腹の立つことを言われたら、怒りの言葉で返すのではなく、まずは大きく深呼吸する。人は怒りを感じると、呼吸が浅くなり、冷静でいづらくなってしまふので冷静さを取り戻すよう、鼻から大きく息を吸い、いったん止めて、口からゆっくりと吐き出す。腹式呼吸の要領でおこなう。

②カウントバック

カチンときたら、数を6秒数える。怒りのピークは最大でも6秒と言われ、6秒間だけでも違うところへ意識を飛ばすことで、衝動に任せ、取り返しのつかなくなるような言動を回避する。

③ポジティブ・セルフトーク

気持ちを高揚させる為に、あらかじめ自分で決めておいた「元気メッセージ」「プラス思考フレーズ」を強い気持ちで唱える。不当な判定を受けたことで気持ちが折れそうになったり、忙しすぎてイライラしたときなどに、自分を鼓舞することができます。

このような方法は、およそ30種類ほどもあります。自分にあった対処法を覚えることで、より円滑な周りとのコミュニケーションができれば、自分自身にとっても大いにプラスになることでしょう。

Bird's Eye

金融経済情勢 ～島が金融経済の中心へ～



今年も早くも5月、節句の季節がやってきましたね。梅雨入り前のこの月は何といてもゴールデンウィークがありますので、消費増税で固くなった財布の紐が緩むかどうかが、一つのポイントなりそうです。

4月の日銀の地域経済報告によれば、駆け込み需要は想定範囲内であり、反動は短期で収束する見通しだとの判断が中心でした。しかし、3月の消費者態度指数は37.5%と前月比1.0ポイント下落するなど東日本大震災後の11年8月以来の低い水準に止まるなど、消費者心理は4ヶ月連続の悪化となりました。大手マスコミは日本経済の強さを懸命にアピールしていますが、先行きには不安感が漂っているというのが、一般大衆の胸の内であるようです。

なんとと言っても消費増税による物価高、健康保険料率のアップによる負担増、介護・年金保険料のアップと国による国民からの搾取は増える一方で、超金融緩和で市場を刺激した日銀も次の

大胆な手を繰り出さなければ、世界の日本経済に対する視線は厳しくなるばかりです。これに電気料金の値上げや、さらなる消費増税で10%だという判断が加わると、我々国民の暮らしは本当に厳しくなると思います。とても5%くらいの収入アップでは追いつかず、最低でも10%以上収入を増やさねばどうにもならないという時がやってくるのではないのでしょうか。

多くの日本人は香港やマレーシア、ベトナムなど海外の銀行に金融資産を逃避させているという話もありますが、そのような人々が注目しているのが、マレーシアのラブアン島です。日本の八丈島なみの面積に人口10万人が住むこの島の経済を担うのが、ラブアンオフショア金融サービス庁で、香港やシンガポールに次ぐオフショア金融センターとして東南アジアの注目をあつめています。日本からは三菱東京UFJやみずほ・三井住友銀行、野村信託銀行も進出しており、欧米の主要金融機関と共に57銀行、203保険会社がオフショ

アメリットを生かした活動をしています。島といえば、先日のマレーシア航空機行方不明事件で一躍脚光を浴びたディエゴガルシア島も民間人が一人もいない不沈空母のような基地の島でした。この島を維持するためにどれだけの巨費が投じられているか想像もつきませんが、これからの時代、お金持ちの現金は世界中の島々で静かに非課税で運用されていくようです。オフショア先進国の英領ガーンジー島など多くの租税回避地を持っていますが、これがマレーシアに移動しているという話もあります。海外にまで資金を移さなくてもお得で確実な資産運用といえば保険ですが、その保険会社もオフショアを活用しています。先行き不安感が漂う時代だからこそ、分散投資という方法が必要ですね。まずはライフプランで、あなたの人生を俯瞰してみてくださいませんか。

少額短期保険をご存知ですか？

平成18年4月1日よりスタートし、現在では合計77(加入者数500万人超)の事業者が登録している「少額短期保険」をご存知でしょうか？少額短期保険業者とは、保険業を営む上で、保険業法上の一定事業規模の範囲内において『少額』『短期』の引き受けのみを行う事業者のことをいいます。取扱う保険商品の特徴としては、保険金額が『少額(疾病による死亡・重度障害300万円以下、入院給付金等80万円以下、損害保険金1000万円以下等)であるということ、そして保険期間が『短期(通常は1年。損保分野は2年以内)』となります。少額かつ短期であるという特性を生かし、既存の保険会社の保険商品と比較すると大変ユニークな商品が多いのも特徴のひとつです。そしていずれの少額短期保険業者も独自性を出すために取扱商品にある程度絞り込んでいます。

具体的な商品例を挙げると、「不使用チケット費用補償保険(楽しみにしていたコンサートに行けなくなった時のチケット代を補償する)」や「レスキュー費用保険(山登りの時、万が一遭難した際の捜索や救助に必要な費用をカバーする)」などがあります。また、医療保険分野でも通常であれば加入が難しいとされる“妊娠中の方”や“疾病等で通院中の方”であっても、告知内容によっては特定の疾病部位を一定期間不担保として加入することができます(告知内容により一部例外も有)。

現在の世の中はインターネットの普及と共に次々と新しいものが誕生し、それに伴うニーズも多種多様化しています。“保険”も同様に様々なニーズに応えるといった点で『少額短期保険』への加入者が年々増えているというも頷けます。「少額短期保険」は時代の変化の中で誕生した新しい『保険』の形といえるでしょう。

LFSでも「テナント保障」・「弁護士費用」などの少額短期保険をラインアップしております。まずはLAまでご相談ください。

オフィス紹介 ～北九州オフィス～



北九州オフィスは昨年11月に開設し、現在8名で地域の皆様に親しまれるLAを目指して活動しています。北九州市は工業地帯で有名ですが、海や山々に囲まれた自然豊かなところでもあり、美しい風景や歴史を偲ばせる史跡も多く残っています。本州やアジアの玄関口であったことから、古くから交通の要衝として多くの人が行き交い、賑わい栄えてまいりました。北九州市発祥のものとして、競輪やハンチパ・マ・24時間ス・パ・商店街ア・ケド・焼きうどんがあります。また北九州出身の著名人では、舛添要一東京都知事・白川方明元日銀総裁・竹下佳江選手(女子バレー日本代表)・歌手のCHAGEさん・山本リンダさん。北九州にゆかりのある人物としては、松本清張さん(小説家・広島市出身、11歳頃から小倉で育つ)・銀河鉄道999の松本零士さん(漫画家)など。このような北九州市を基盤とし、あらゆるニーズにお応えできる、お客様の生涯に渡るパートナーを目指し、日々の業務に取り組んでいます。